



# 海！いのちの故郷 NPO法人北海道海浜

## 海浜美化清掃活動 (延べ人数)

## スローガン

年	回数	年間人数	累計人数
2001	1	80	80
2002	2	180	260
2003	3	420	680
2004	3	550	1,230
2005	2	270	1,500
2006	3	440	1,940
2007	3	470	2,410
2008	4	490	2,900
2009	4	350	3,250
2010	4	750	4,000
2011	4	525	4,525
2012	5	644	5,169
2013	5	834	6,003
2014	5	959	6,962

- 1、北海道の海辺を日本一美しく！
- 2、守りたい地球、子どもたちの未来のために！
- 3、海浜美化活動に参加して社会貢献を！
- 4、海をきれいに！心もきれいに！



### 2014年

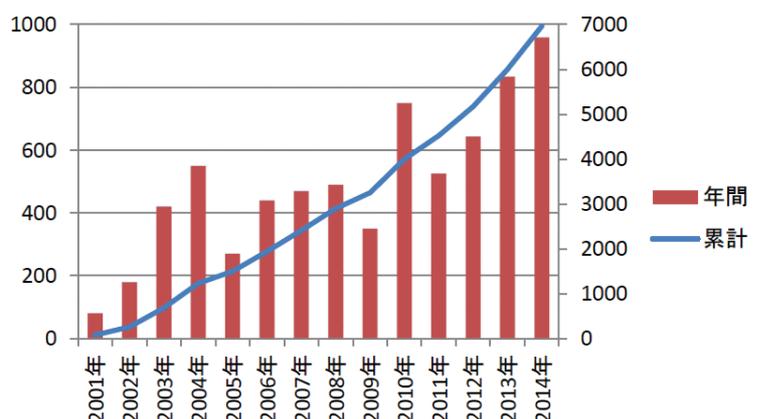
回目	場所	月日	参加人数
44	浜益	5/11	280
45	石狩	6/1	539
46	洞爺湖	6/22	50
47	積丹	8/30,31	50
48	浜益	10/26	40

### 海浜美化フォーラム

2003年～2014年の間、年1回計12回開催、のべ865人が参加

- 第9回 (2011.2.13) 50名
- 第10回 (2012.2.18) 50名
- 第11回 (2013.2.23) 45名
- 第12回 (2014.2.22) 40名

### 清掃活動の年間参加者/累計参加数



<http://www.hamabika.org/umi/>

# ネットワーク 美化をすすめる会

## 海浜美化を進める会の目的と活動の方向性

「海！いのちの故郷」のもと、北海道の海と浜辺を日本一きれいにするために、地元住民や他団体との協力して清掃活動を行っています。また、広く道民を啓発し、心身共に豊かな人格形成を目的としています。自然とのふれあいから、子供たちに心温かな道徳の高揚を図る教育推進することが私たちの活動の目指すところです。



水崎 呈 会長



尾崎 宏一副会長



中根 恵美子 事務局長



太田 実 監査





# 海浜美化フォーラム 2014.2/22

## つながる森と川と海～流木について考える



### 齋藤 直人氏

北海道立総合研究機構林産試験場 技術部長  
題目「流木はどんなもの？」



### 尾崎 真一氏

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課  
廃棄物指導グループ主査  
「北海道の取り組みの報告」

2月22日、かでの2・7にて40名ほどが参加し、「海浜美化フォーラム」を行いました。

齋藤氏は、林産試験場で循環型社会形成推進科学研究で実施した研究成果の一部を使って、主に流木の発生原因、海岸での流木の漂着実態、リサイクル技術と塩分、リサイクルに向けてのお話をされました。

特に、リサイクルするための処理方法などの研究を発表され、リサイクルの方法として、木質ペレット燃料、牛舎などの敷料、緑化資材、木質歩道などに使うマルチング材、畑などの水はけを良くするために使う暗渠疎水材などがあり、これらの使用方法を広げていくことが重要と話されました。

そして、尾崎氏は、海岸漂着物の発生抑止のための北海道の取り組みについて報告をされました。

パネルディスカッションでは、北海道の流木は川から排出されることが分かったが、森から川に排出される原因について討議された。海岸に漂着している流木の処理について具体的質問があり、北海道の海岸漂着物の90%が流木であることから、森や河川林を保全することが、海的环境保全につながるなど活発な意見が出ました。



川口氏(きたネット)と尾崎氏を交えてパネルディスカッション

活動報告DVDの発表



NPO法人北海道海浜美化を進める会